

海外留学を考えている若い先生へのメッセージ

The Children's Hospital of Philadelphia

消化器外科 原 豪男（平成 21 年卒）

私は 2019 年 4 月より米国ペンシルベニア州のフィラデルフィア小児病院 (CHOP) 研究所で留学研究をしています。CHOP はアメリカ最古の小児病院であり、私の所属する消化器部門は昨年の特米小児病院ランキング 1 位に選ばれるなど高く評価されています。我々のラボでは豊富な症例や臨床サンプルを生かして、臨床研究、橋渡し研究、他のラボとのコラボレーションなど積極的に行っています。ラボ専属の CRC は臨床サンプルおよびデータの管理、郵送など研究以外の業務の殆どを行なってくれ、私自身は研究に専念して充実した毎日を過ごしています。またラボには研究スペース、実験機器、豊富な資金、試薬などハード面も充実しており、研究面でのメリットは少なくありません。

フィラデルフィアには比較的日本人の家族が多く住んでいて、食事会、バーベキュー、ランニング、テニス、フラダンスのレッスンなど家族間での交流も沢山でき、私の家族も楽しく過ごしております。これらの方々には様々な職種の方が混ざっており、月一回の日本人勉強会ではそれぞれの仕事や研究内容を共有して互いを刺激し合っています。また大学や現地ボランティアが企画した英会話教室に参加するなどプライベートでも充実した生活を過ごしています。

もちろん留学生活は楽しいことばかりでなく、大変なこともたくさんあります。特に私にとって言葉の壁は非常に高く、問い合わせ電話の途中で突然切られたり、ミーティングの内容が理解できず落ち込むことも多々ありました。また業務メールや諸手続きが放置されることも多く何度も問い合わせをしないといけないなど、日本では考えられないトラブルも沢山経験しました。

アメリカでの海外生活は良くも悪くも今までの価値観や固定観念を再考する大きなきっかけを与えてくれました。このような経験はやはり日本では経験できない事ですので、ぜひ留学で味わって欲しいと思います。私の経験を読んで頂き、より多くの若い先生方に海外留学に興味を持っていただければ幸いです。最後にこのような素晴らしい機会を与えて頂いた先生方に、この場をお借りして感謝申し上げます。



ランニングチームとロッキーステップ（フィラデルフィア美術館前）にて